

作成年月日	平成 25 年 12 月 24 日
作成部局課	企画県民部政策調整課

平成26年 新年の抱負

兵 庫 県

安全元気ふるさと兵庫の実現

わが国経済は、円高是正を背景に輸出産業を中心に明るさが出ています。この動きを地方や中小企業へと広げ、持続可能な発展につなげていかねばなりません。

人口減少や少子化、高齢化への対応、地域経済の再生、地震・風水害への備えなど、取り組むべき課題は明らかです。今こそ、これまでに培った力を結集し、兵庫から成熟社会にふさわしい新たなモデルの構築をめざすときです。

2020年には東京オリンピック・パラリンピック、翌年には関西ワールドマスタースゲームズ2021が開催されます。豊かな自然・歴史・文化が息づき、多様な産業が躍進し、人々がいきいきと活動する兵庫を内外へ発信できるよう、県民の皆様とともに力を合わせ「安全元気ふるさと兵庫」の実現をめざします。

第一は、震災の教訓を生かす兵庫づくり

阪神・淡路大震災20周年を契機として、改めて震災の教訓を発信するとともに、建物の耐震化をはじめ、防潮堤や砂防えん堤、緊急防災林の整備、総合治水の推進など、災害への備えに万全を期します。

第二は、安心して暮らせる兵庫づくり

健康体操の普及による健康づくりをはじめ、がんやうつ病の早期発見・治療につながる健診やストレスチェックの促進など、健康ひょうごの実現をめざします。また、在宅高齢者の24時間見守り体制の整備、保育所や放課後児童クラブの増設による子育て環境の充実など、安心して暮らせる地域をつくります。

第三は、一人ひとりが活躍する兵庫づくり

就業体験や訓練、情報提供等の充実により若者、女性、高齢者、障害者の就業を支援し、誰もが持てる力を発揮して活躍する社会をつくります。また、高校全学区への専門学科の設置、国際化に対応できる英語力の育成など学力向上に取り組むほか、特別支援学校の整備や県立大学の特色化など、次代の担う青少年を育成します。

第四は、産業が躍進する兵庫づくり

SPRING-8やスーパーコンピュータ「京」などの先端技術基盤の活用や産学官の連携による技術開発、世界を見据えた事業展開の支援など、先端産業やオンリーワン企業の創出、生活産業の充実をめざすとともに、都市近郊など地域の強みを生かした農業ビジネスの創出など、産業力の強化を図ります。

第五は、エネルギー安定と環境創造の兵庫づくり

太陽光発電や木質バイオマス発電など再生可能エネルギーの導入を促進し、地球温暖化の防止とエネルギーの安定を図るとともに、鳥獣被害の防止、瀬戸内海の里海の再生など、豊かな環境の保全と創造を推進します。

第六は、地域が元気なふるさと兵庫づくり

地域資源を活かした内外との交流人口を増やすほか、中枢市街地やオールドニュータウンの再生、道路ネットワークの整備を進め、地域の活力を創出します。

兵庫らしい地域づくりを推進する基盤を確立するため、地方分権改革や行財政改革を着実に推進します。

平成26年度の主要施策

1 震災の教訓を生かす兵庫

(1) 震災の経験・教訓の継承、発信

- ① 阪神・淡路大震災20周年事業
- ② 東日本大震災被災地等への継続的な支援

(2) 防災・減災対策

- ① 地震対策（耐震改修の促進、大規模多数利用建築物等の耐震化への支援充実）
- ② 津波対策（津波防災インフラ整備5箇年計画に基づく防潮堤の整備）
- ③ 風水害対策（第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画の策定、総合治水の推進、防災林の整備など災害に強い森づくり）
- ④ 地域防災力の充実（県民総参加「減災」キャンペーン、防災道路ネットワークの計画的整備、住宅再建共済制度の対象拡大）

2 安心して暮らせる兵庫

(1) 健康づくりの推進

- ① 健康づくり活動の促進（健康体操の普及）
- ② 医師の確保（地域医療支援センター・同活性化センターを活用した医師養成・確保）
- ③ がん対策の推進（企業と連携した健診促進）
- ④ 自殺予防対策（24時間電話相談体制の充実、ストレスチェック等うつ病の早期発見・治療、産後うつ対策）

(2) 地域でのサポート体制の充実

- ① 在宅高齢者の見守り体制の整備（要介護3以上の24時間対応巡回サービスの充実、地域サポート型特養による一人暮らし高齢者等の見守り、地域の元気高齢者等がサービスを提供する「安心地区」の整備推進）
- ② 障害者の地域生活支援（グループホームの開設支援）
- ③ 出会い・子育て環境の充実（出会いサポート事業の推進、待機児童解消に向けた保育所等の整備、幼稚園・保育園での小規模児童クラブ開設）
- ④ 地域の安心確保（防犯カメラの設置支援、不適切表示等の指導強化）

3 一人ひとりが活躍する兵庫

(1) 生きがいをもって働ける社会の実現

- ① 若者の就業支援（無職の若者の就労体験、大学生のインターンシップ推進、ふるさとの中小企業のPR支援）
- ② 女性の再就業支援（再就職セミナーや就業体験の充実、ワーク・ライフ・バランスの推進）
- ③ 高齢者の社会参画の促進（生きがいしごとサポートセンターの全県展開、中高年離職者の職業訓練の拡充、中高年技術者と中小企業のマッチング）
- ④ 障害者等の雇用推進（特例子会社の設立支援、工賃向上に向けたインターネットによる販路拡大、保護観察者の協力雇用主への支援）

(2) 次代を担う青少年の育成

- ① 確かな学力の育成（全学区の理数系・国際系学科の設置、神戸大教授等による県立高校での出前授業等の実施、拠点工業高校への最新技術機器の導入）
- ② 国際化に対応した英語教育の充実（スーパーグローバルハイスクール(SGH)の設置、ALTによるイングリッシュ・キャンプ等の実施、海外留学の支援充実、英語教員の指導力向上）
- ③ 豊かな心の育成（副読本を活用した道徳教育、発達段階に応じた体験教育）
- ④ 特別支援教育の推進（神戸・阪神・但馬での整備推進）
- ⑤ 県立大学の特色化(姫路工学キャンパスの整備検討、防災教育センターの機能充実)

(3) スポーツの振興

- ① 競技力の向上（東京オリンピックをめざすジュニア選手の発掘・育成）
- ② 生涯スポーツの振興（関西ワールドマスタースゲームズ2021に向けた、関西版マスターズによる生涯スポーツのすそ野拡大）

(4) 芸術文化の振興

- ① 質の高い芸術鑑賞機会の提供（芸術文化センター等のアウトリーチ活動）
- ② 伝統文化の普及・継承

4 産業が躍進する兵庫

(1) 世界最先端技術の活用

- ① 産学官連携による研究開発（FOCUSスパコンを活用した創薬支援、県立大への次世代電池評価センターの機能付加、県立大・工技センター・企業の連携による技術開発）

(2) オンリーワン企業の創出

- ① 事業の新展開の支援（異業種交流の促進、多自然地域へのIT関連企業の誘致）
- ② 地場産業のブランド化（海外でのマーケティング等の研修支援）
- ③ 中小企業の国際展開支援（ひょうご海外ビジネスセンターの機能強化、外国人留学生の採用促進、海外インフラ整備の受注支援、海外とのビジネスマッチングサイト構築）

(3) 生活産業の振興

- ① 生活・サービス産業（スイーツ、ファッション、健康等）の新展開の支援

(4) 世界と競える農林水産業の育成

- ① 新たな農業モデル創出（次世代施設園芸モデル団地の整備、都市近郊での葉物野菜等の増産プロジェクト）
- ② 農業の担い手育成（農地中間管理機構による農地集約、若者の新規就農支援）
- ③ 農林水産物のブランド化（神戸ビーフ等の海外輸出の拡大、海外プロモーション展開）
- ④ 資源循環型林業の推進（新林内路網1000km整備の推進、発電用チップ製造など木質バイオマスの利用促進）
- ⑤ 持続可能な漁業の推進（藻場等の整備、西播磨アサリ等の養殖による新ブランドづくり、魚プロモーションの展開）

5 エネルギー安定と環境創造の兵庫

(1) エネルギーの安定

- ① 再生可能エネルギーの導入促進（木質バイオマス・工場排熱等を活用した発電の促進、公共用地等での太陽光発電等の推進）
- ② 省エネ・節電対策の推進（高効率エネルギー設備導入、スマートシティの促進）

(2) 自然との共生

- ① 豊かな環境の保全・創造（瀬戸内の豊かな里海の再生、豊かな森づくりの推進、PM2.5注意喚起情報の発信体制の整備）
- ② 鳥獣被害の防止推進（シカ・イノシシの適正管理、狩猟者の育成、バッファゾーンと防護柵の一体整備）

6 地域が元気なふるさと兵庫

(1) 地域活力の増進

- ① 地域再生の推進（「がんばる地域」交流・自立応援、ふるさとづくり青年隊）
- ② 「ふるさとづくり推進費」を使った個性豊かな地域づくりの展開
- ③ あわじ環境未来島構想の推進（EVシェア・レンタカー実証実験）
- ④ 夢但馬 2014 の展開（山陰海岸ジオパーク・コウノトリの国際会議など但馬人集合イベントの毎月開催、食・スポーツ・アートなど6ジャンルの多彩なイベント展開）

(2) 魅力と活力あるまちづくり

- ① 三宮周辺の再開発（JR・阪急の駅ビル整備、業務機能の集積促進）
- ② オールドニュータウン等の再生（明舞団地再生事業の推進、郊外型団地の再生プラン作成、空き家の活用支援）
- ③ 商店街の活性化等（大学・NPO等と連携した賑わい創出、FAX等を活用した受注システム構築、新長田の再開発ビルの活用促進）

(3) 内外との交流促進

- ① 地域資源を行かしたツーリズム展開（「軍師官兵衛」のロケ地等を活用した観光PR、ひょうご ONLY ONE ツアーの実施）
- ② 海外からの誘客（「KANSAI 国際観光 YEAR」の展開、瀬戸内海地域等と連携した広域ツーリズムの展開、多言語対応サービスの整備促進）

(4) 交流を支える基盤の充実

- ① 高速道路網のミッシングリンク解消（北近畿豊岡自動車道、山陰近畿自動車道、播磨臨海地域道路、名神湾岸連絡線 等）
- ② 社会基盤の老朽化対策（インフラ・メンテナンス 10 箇年計画の策定、メンテナンス技術力の向上、建設人材の確保・育成）
- ③ くらしを支える基盤整備（新渋滞交差点解消プログラム・踏切すっきり安心プラン策定）

(5) 自立した兵庫づくり

- ① 地方分権改革の推進
- ② 第3次行財政構造改革推進方策の策定と着実な推進